

## 開通までのあゆみ

年	主な出来事	事業への取組み
平成23年 3.11	●東日本大震災発生	●国道45号が津波による崩壊・がれき堆積により不通となり、迂回路がないため町が孤立、救助が難航したことを受け、三陸沿岸道路の早期整備が重要となりました。
平成23年度 11.21 11.25 2.22	●三陸沿岸道路のルート公表 ●三陸沿岸道路のルート確定 ●事業評価手続き開始 ●事業化決定・予算成立 ●復興道路会議 ●中心杭設置式	●震災後、1ヶ月で道路の応急復旧がされるとすぐに、三陸沿岸道路「尾肝要普代工区(約8km)」の事業化へ向けた取り組みがスタート。ルートの公表から確定までは2ヶ月、震災後から9ヶ月で事業化となりました。  ▲中心杭設置式
平成24年度	●「事業促進PPP」始動 ●用地取得開始	●官民連携による復興事業促進を図る「PPP制度」を導入。設計のスピードアップや効率的な関係機関協議などを実施し、工事着工までの期間を大幅に短縮。  住民説明会の様子▶
平成25年度 11.18	●埋蔵文化財試掘調査開始 ●さんごくニュース「三陸国道」を事務所HP掲載開始 ●起工式	 ◀起工式
平成26年度	●埋蔵文化財本調査開始 ●ダンプ運転マナーアップ運動の実施 ●「柏木平第1トンネル」安全祈願祭 ●「柏木平第2トンネル」安全祈願祭	●土工事の本格化に伴い、ダンプ運転による振動・道路汚損等が課題となったことから運転マナー教育やダンプの清掃を始動する等マナーアップ運動を実施しました。  柏木平第1・第2トンネル安全祈願祭▶
平成27・28年度 H 27 H 28	●「柏木平第2トンネル」貫通式 ●「柏木平第1トンネル」貫通式 ●埋蔵文化財調査が完了	●田野畑北IC～普代間で初となるトンネルが貫通。  ◀柏木平第2トンネル貫通式
平成29・30年度 H 29	●「巢合トンネル」安全祈願祭	●用地取得が完了し工事が本格始動。 ●尾肝要普代道路で計画されている、最後のトンネル「巢合トンネル」の工事が本格化。  巢合トンネル安全祈願祭▶
平成31年度 令和元年度	●「巢合トンネル」貫通式	●今回開通区間全てのトンネル工事が完成。  巢合トンネル貫通式▶▶
令和2年度 12.19	●三陸沿岸道路(田野畑北IC～普代)開通	 ▲巢合トンネル起点側坑口付近 ▲田野畑普代大橋付近





復興道路  
復興支援道路

# 三陸沿岸道路(田野畑北IC～普代)

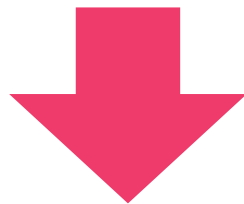
## 早期着工・完成を目指して

### 「復興道路会議」について

一日も早い完成に向けて「スピードアップ」が必要

#### スピードアップのポイント

- 1 全ての関係者に対する事業進捗への合意形成
- 2 国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決



### 「復興道路会議」を設置

#### 会議の構成



▲ 復興道路会議の様子

- 県知事
- 東日本大震災復興対策本部
- 現地対策本部長 (現 復興大臣政務官)
- 関係市町村長
- 地元経済界
- 地元メディア
- 東北地方整備局長



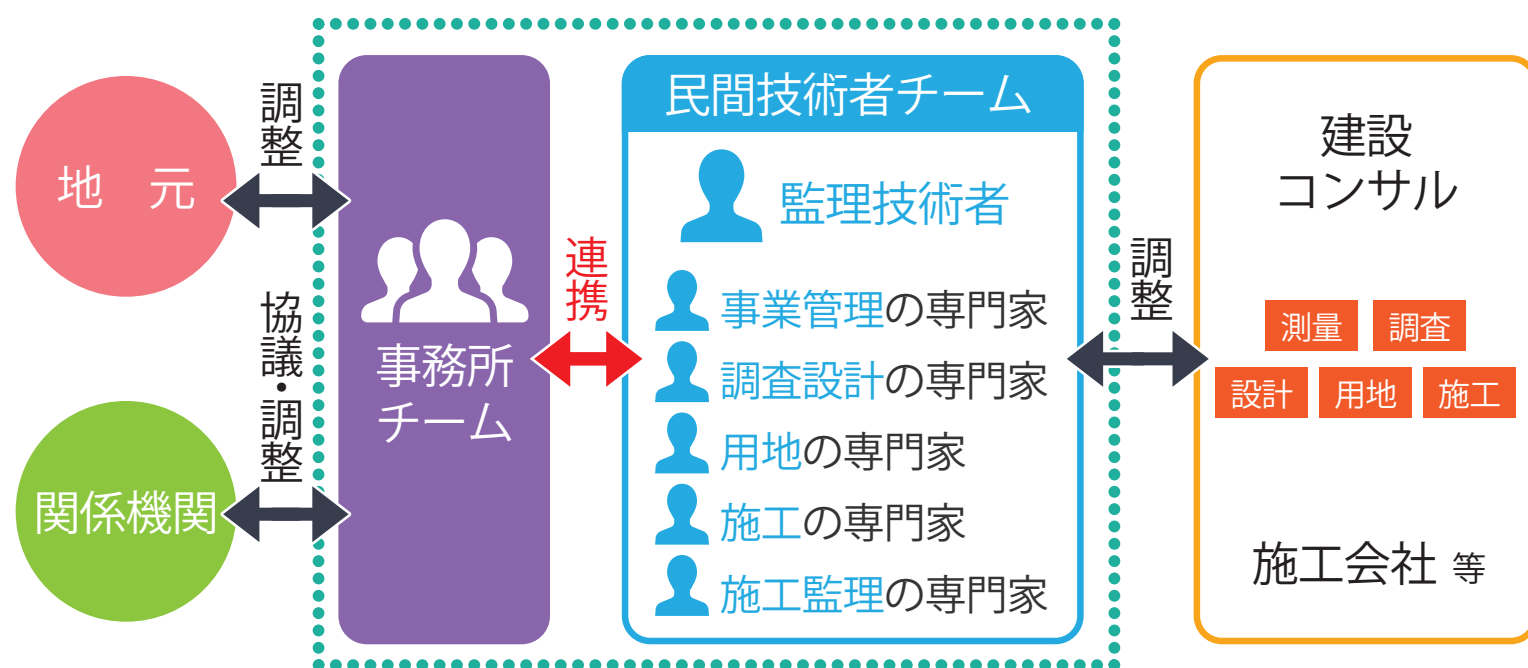
## 早期着工・完成を目指して

### 全国で初めて「事業促進PPP ※」を導入

三陸沿岸道路の復興事業では、国内初の事業促進 PPP を導入しました。事業促進 PPP とは、官民がパートナーを組み、官民双方の技術・経験を活かしながら効率的なマネジメントを行うことにより事業の促進を図るものです。

民間技術者チームは、「事業管理」、「用地」、「調査設計」、「施工」、「施工監理」のエキスパート(専門家)で構成されています。  
それぞれが連携しながら、全体の最適な進め方を検討・実施しました。

### 事業促進PPP の事業体制



▲ 関係市町村との協議の様子



▲ 地元説明会での様子



▲ JRとの現地立ち会いの様子



▲ 電力関係者との協議の様子(立会)



▲ 設計コンサルタントとの道路詳細設計打合せ

※PPP・・・Public Private Partnership の略(官民連携・公民協働の意)



## 早期着工・完成を目指して

### 各分野の専門家が専任・常駐し 迅速な合意形成に向けて邁進

#### 専任・常駐

- ▶ 専任・常駐により、即座に課題への対応が可能
- ▶ 発注者チームとPPPチームの密接情報交換が可能となり、あらかじめPPPで検討した内容を発注者と調整することにより、方針の食い違い手戻りを防止
- ▶ 関係機関や地権者の疑問や要望に対して迅速に対応
- ▶ 地元・関係機関と接する機会が増え、地元要望や問題点の早期把握が可能



▲関係機関協議の様子(立会)



▲道路詳細設計打合せ

#### 各分野(事業監理、調査・設計、用地、施工)の専門家の配置

- ▶ 発生した課題に対して、各分野の専門家による多方面からの検討により、解決策を早期に提示
- ▶ 施工担当によるフィージビリティの確認、用地担当による用地リスクの考慮、地元要望の反映等により設計成果の品質が向上し、施工時の手戻りを最小化
- ▶ あらかじめ事業の各段階でのリスクを抽出し、戦略的な対応策の立案により事業の遅延を防止
- ▶ 事業監理、施工担当による実現性の高い工程の立案と進捗管理

#### 課題

- H25年度の工事着手を目標。
- 複数におよぶ関係機関との設計協議などに膨大な時間を要する。

#### 取り組み

- 協議相手の全関係機関とPPPが一同に介して協議を実施。
- H24年から協議を複数回実施。

#### 短期間での合意形成を実現



▲関係機関協議の様子

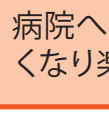


▲関係機関現地立会の様子

#### 説明会参加者の声



災害が発生した時には幹線道路のダブル化で心強い。



病院への送り、迎えが早くなり楽になりそうだ。



物流が活発になりそうだ。

分かりやすい  
説明資料を用いた  
地元協議の促進







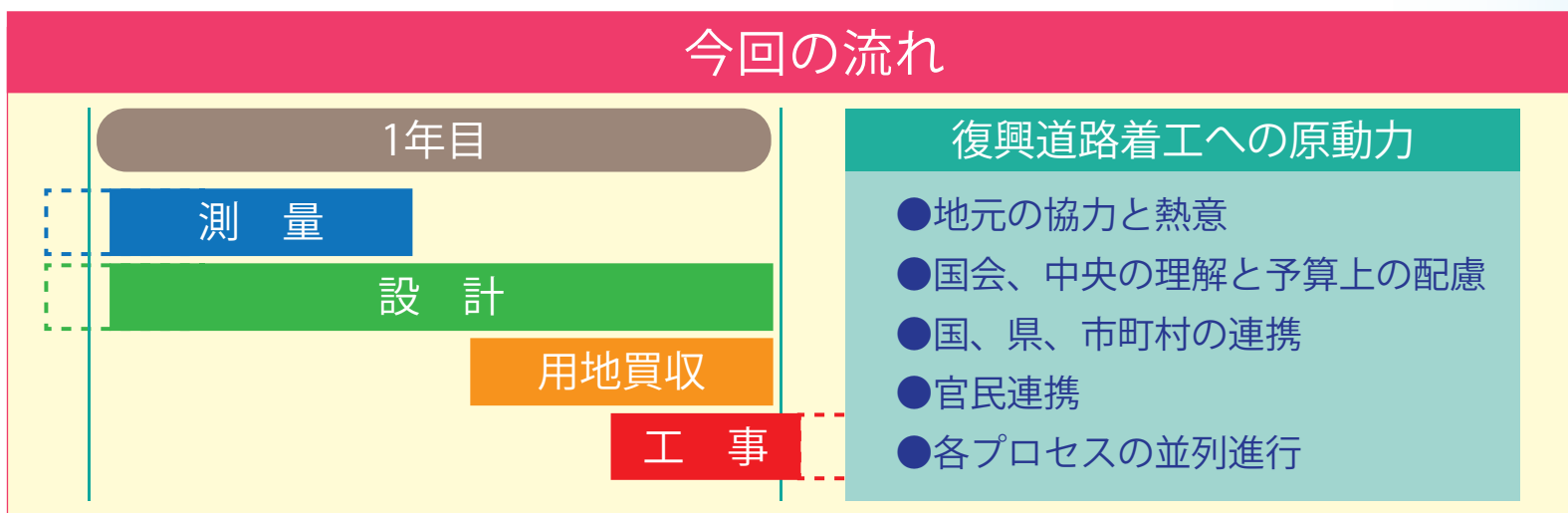
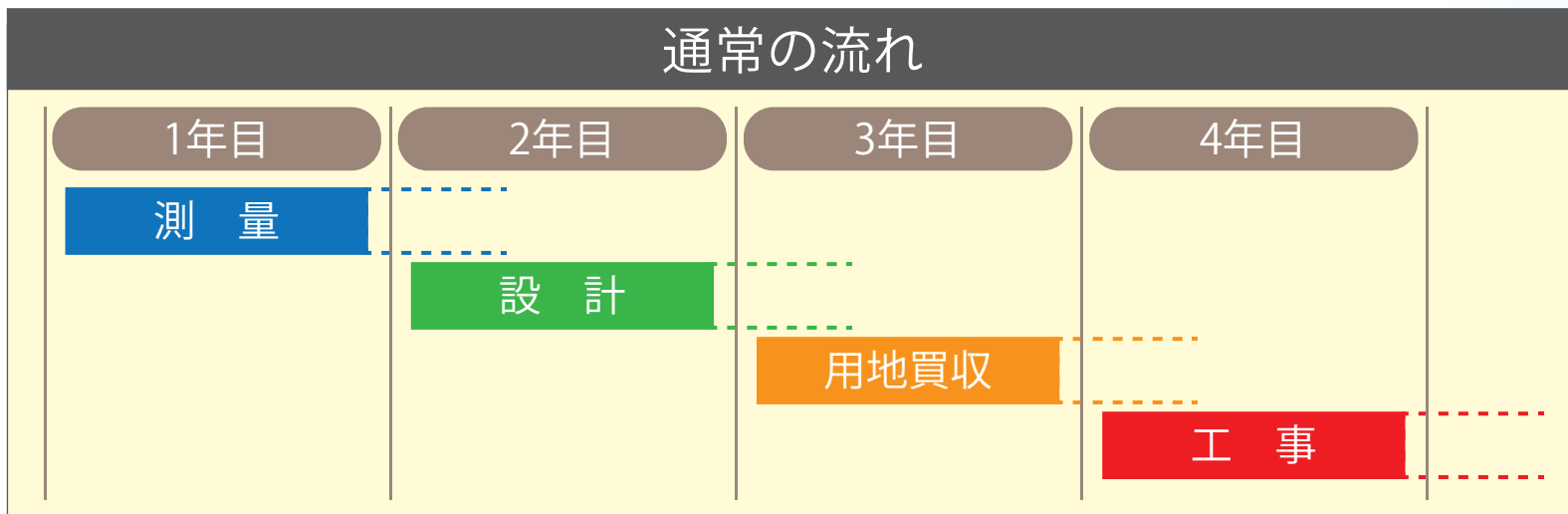
復興道路  
復興支援道路

# 三陸沿岸道路(田野畑北IC～普代)

## 早期着工・完成を目指して

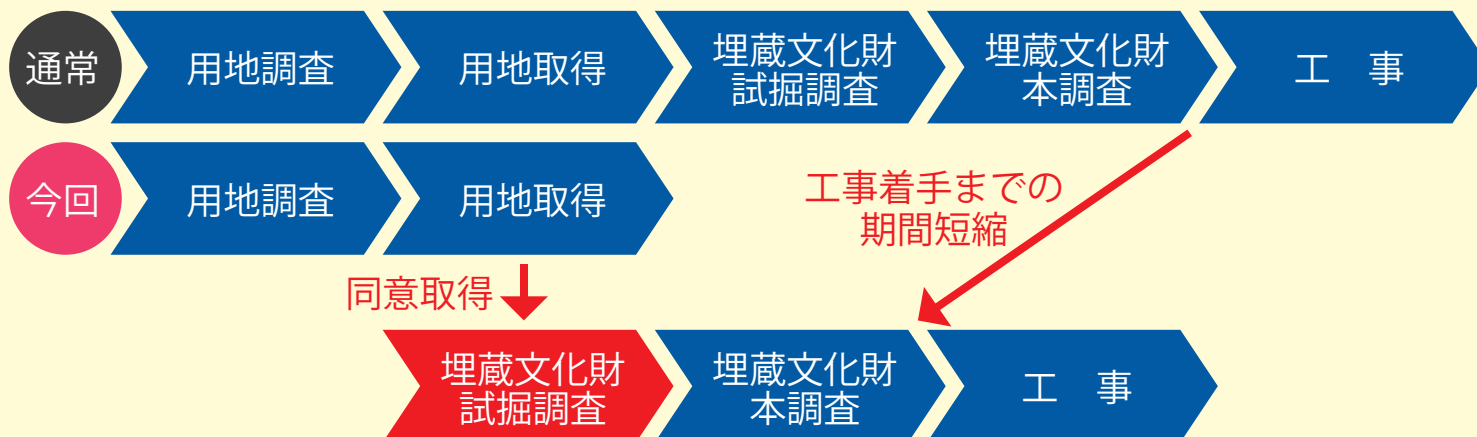
### 事業プロセスを並列で進めました。

通常は新規事業化から工事着工まで、4年かかるところを、「地元の協力と熱意、国会、中央の理解と予算上の配慮、国、県、市町村の連携、事業促進PPPに代表される官民連携、各プロセスの「並列進行」が原動力となり、大幅に短縮して実施しました。



### 【設計・協議の効率化：工程の短縮】各プロセスの並列進行

埋蔵文化財試掘調査の用地取得前実施による工程短縮



▲支障移転調整会議の様子



▲埋蔵文化財試掘調査立会の様子



▲用地調査確認サポートの様子



## 地域と共に…

### 1 「復興道路等の整備の見える化」の取り組み

復興道路・復興支援道路の整備の進捗状況を地域の皆様に実感して頂くため、パネル展、ホームページ掲載や、「工事だより」等の広報誌の配布を行っています。

#### 「ふだいまるごと元気市」 広報活動



#### 「工事状況お知らせ★田野畑普代工区だより★ 発行



#### 事務所ホームページ掲載



復興道路・復興支援道路の進捗状況をご覧ください。  
[http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/03\\_topics/fukkou/index.html](http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/03_topics/fukkou/index.html)



## 地域と共に…

### 2 現場見学会

地域のみなさまに工事進捗状況を実感していただくため、現場見学会を積極的に実施し、多くのみなさまにご参加いただきました。

#### 普代村子供会がトンネル工事現場を見学 <2015年8月3日 実施>

夏休み中の勉強に、柏木平第1トンネル工事現場で実感しました。



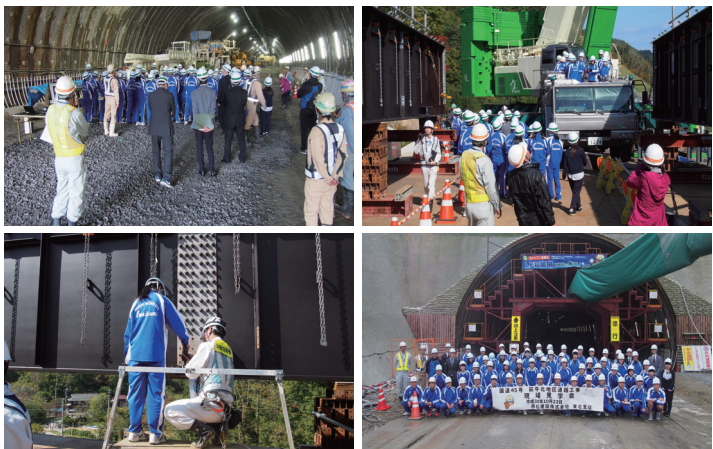
#### 田野畑村立田野畑小学校 現場見学会 <2017年6月7日 実施>



#### 田野畑村立田野畑小学校 現場見学会 <2018年6月13日 実施>



#### 岩手県立岩泉高等学校 現場見学会 <2018年10月23日 実施>



#### 開通前現場見学会 <2020年11月28日 実施>





## 地域と共に…

### 3 CSR※活動(社会貢献活動)

※CSR……Corporate Social Responsibilityの略

三陸沿岸道路の建設に携わっている各社並びに安全衛生連絡協議会(略称:安全協議会)では、“CSR=企業の社会的責任”として、地域の道路清掃等の社会貢献活動を継続的に行っています。

#### 復興道路の発生土で復興まちづくりを支援

現場発生土を復興まちづくりに有効活用しました。



▲ 島越駅前広場



▲ 明戸防潮堤



▲ 平井賀漁港

#### 【他の発生土提供事例】

- ・長峰牧野
- ・久慈浜山
- ・宇部圃場
- ・小本川築堤
- ・小本小・中学校グラウンド

#### 安全協議会 環境整備 〈2015年8月26日 実施〉

「みちのく潮風トレイル」の草刈り清掃を行いました。



#### 地元行事に協力 〈2016年8月7日 実施〉

「普代浜ビーチバレーボール大会」に協力しました。



#### 地元行事に参加 〈2016年11月27日 実施〉

「ふだいまるごと元気市」に参加しました。



#### 震災追悼イベントに参加 〈2017年3月11日 実施〉

イベント会場の設営、お振舞を行いました。

